HITACHI
Inspire the Next

Wooo
ハイビジョン
プラズマ／液晶
［ウー！］

取扱説明書

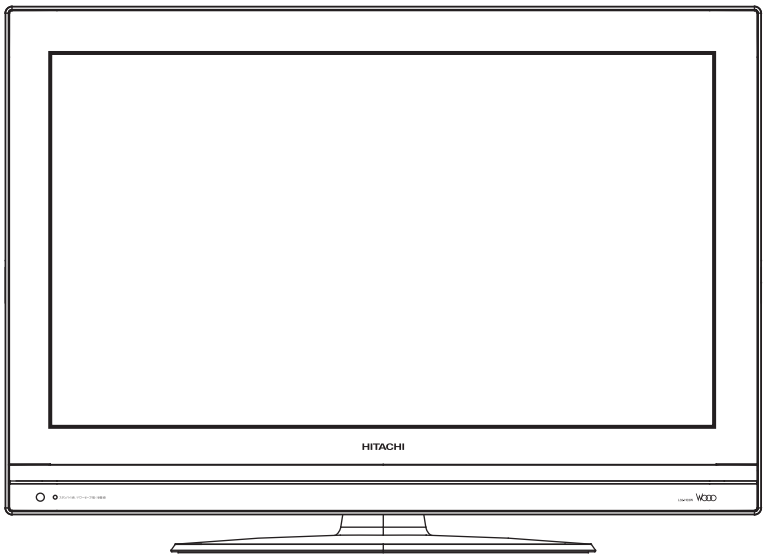
日立液晶テレビ
（地上・BS・110 度 CS デジタルチューナー内蔵）

形名

L22-H03B / L22-H03W
（ブラック）　（ホワイト）

L26-H03B / L26-H03W
（ブラック）　（ホワイト）

L32-H03B / L32-H03W
（ブラック）　（ホワイト）



BS DIGITAL　110° CS DIGITAL　地上 DIGITAL　HDMI™ HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

このたびは日立液晶テレビをお求めいただき、ありがとうございました。
本書は、各モデルの共通の取扱説明書となっています。
本文中のイラストは、主に L32-H03 で説明しています。
それぞれの機種特有の取り扱いについては、L22-H03、L26-H03、L32-H03 と表記しています。

最初に　この取扱説明書に記載の「使用上のご注意」をお読みください。
本体の取扱いは、この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

付属品について

付属品をご確認ください。万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

■取扱説明書（本書）および保証書は、よくお読みになって内容をご理解の上、いつでも確認できるところへ大切に保管してください。

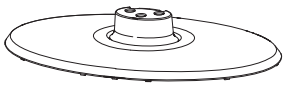
リモコン送信機 24

単３形乾電池 33
（２本）

B-CAS（ビーキャス）カード 38

かんたん操作ガイド…… １冊
保証書…… １冊
取扱説明書（本書）…… １冊

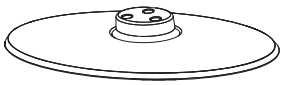
L22-H03B/L22-H03W



スタンド…… １個

スタンド用ネジ…… １本

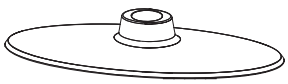
L26-H03B/L26-H03W



スタンド…… １個

スタンド用ネジ…… ３本

L32-H03B/L32-H03W



スタンド…… １個

スタンド用ネジ…… ４本

本書の見かた

この説明書は、主に下記の内容で構成されています。

この説明書で使用しているアイコンについて

⚠注意　安全上、守っていただきたいことを記載しています。

お守りください　操作上、守っていただきたいことを記載しています。

お知らせ　操作上、知っておいていただきたいことを記載しています。

メ　モ　知っていると便利な操作・解説を記載しています。

マークは、取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。

リモコンのカーソルボタンの記号について

本文中の操作説明では、カーソルボタンの押す方向を下図のように表して説明しています。

上下左右方向の操作

左右方向の操作

上下方向の操作

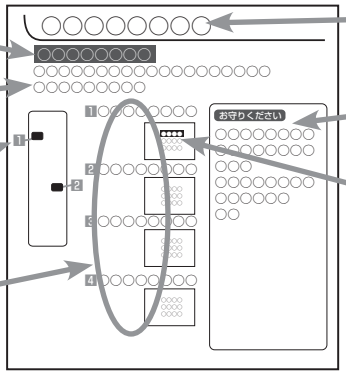
左方向の操作

上方向の操作

右方向の操作

下方向の操作

各ページの見かたについて



もくじ

ご使用の前に

付属品について …… 3
本書の見かた …… 3
もくじ …… 4
使用上のご注意 …… 6
安全上のご注意 …… 7
お守りください …… 14
お知らせ …… 16
留意点 …… 18
デジタル放送について …… 19
受信契約について …… 20
B-CAS カードによる限定受信システ (CAS) のしくみ … 20
BS デジタル放送の有料放送視聴の手続きについて … 21
110 度 CS デジタル放送の有料放送視聴の手続きについて … 21
アナログ放送からデジタル放送への移行について … 22

テレビや周辺機器を設置する

もくじ …… 23
各部のなまえ …… 24
リモコン …… 24
本体　前面 …… 25
本体　右側面 …… 25
本体　左側面 …… 26
本体　後面 …… 27
設置と準備の進めかた …… 28
地上デジタル放送を受信するには …… 29
据え付けについて …… 30
据え付けるときのご注意 …… 30
転倒防止について …… 32
リモコンの取り扱い …… 33
アンテナと接続する …… 34
UHF/VHF アンテナの接続 …… 34
きれいな映像を楽しむために …… 35
CATV ケーブルと接続するときの地上デジタル放送受信について … 35
BS/CS アンテナの接続 …… 36
B-CAS カードを挿入する (重要) …… 38
電話回線と接続する …… 39
LAN インターフェースと接続する …… 40
お手持ちの機器と接続する …… 43
接続できる機器 …… 43
ビデオ、DVD レコーダー、DVD プレーヤーなどと接続する … 44
HDMI 出力対応の DVD レコーダーなどと接続する … 46
ビデオカメラと接続する …… 47
ゲーム機と接続する …… 48
オーディオ機器と接続する …… 49
CATV ホームターミナルと接続する …… 51
PC（パソコン）を接続する …… 52
電源プラグの接続について …… 54

はじめて設定

もくじ …… 55
電源を入れる / 切る …… 56
電源を入れる …… 56
電源を切る …… 56
はじめて設定 …… 57
お住まいの地方 / 都道府県域の設定 …… 57
地上アナログ放送の受信設定 …… 59
リモコンボタン割り当て（地上アナログ放送）…… 60
地上デジタル放送の受信設定 …… 61
リモコンボタン割り当て（地上デジタル放送）…… 63
BS/CS デジタル放送の受信設定 …… 64
郵便番号の設定 …… 65
電話回線テスト …… 65
設定完了 …… 66
地上アナログ (UHF/VHF) 放送の地域名一覧表 …… 67
地上デジタル放送の地域名一覧表 …… 73

受信できるように設定する

もくじ …… 75
メニュー機能の使いかた …… 76
電話回線を設定する …… 78
回線種別を設定する …… 78
外線接続番号を設定する …… 79
番号通知を設定する …… 80
電話会社を設定する …… 81
マイラインプラスを設定する …… 82
待ち時間を設定する …… 83
回線のテストをする …… 84
ISP(プロバイダー) を設定する …… 85
お住まいの地域に合わせて受信設定をする …… 88
郵便番号を設定する …… 88
テレビ設定 …… 89

地上デジタル放送の受信設定 …… 91
初期スキャン設定 …… 92
初期スキャン・リモコンボタンの割り当て (地上デジタル放送) …… 94
再スキャン設定 …… 95
再スキャン・リモコンボタン割り当て (地上デジタル放送) …… 96
地上アナログ放送の受信設定 …… 97
リモコンボタン割り当て (地上アナログ放送) …… 99
BS デジタル放送の受信設定…… 100
リモコンボタン割り当て (BS デジタル放送)…… 101
CS デジタル放送の受信設定…… 102
リモコンボタン割り当て (CS デジタル放送)…… 103
アンテナの設定を変更する …… 104
登録データや受信設定などを初期化したいとき… 105

接続した外部機器を設定する

もくじ …… 107
外部機器と接続したときの設定 …… 108
接続のない入力端子をスキップ設定する … 108
画面表示の機器名を変更する …… 109
パワーセービングシステムについて …… 110

テレビを楽しむ

もくじ…… 111
地上アナログ放送（UHF/VHF）を見る…… 112
デジタル放送を見る…… 114
データ放送を見る …… 117
裏番組をチェックする …… 118
電子番組表（EPG）でお好みの番組を選ぶ …… 119
番組のタイトルなどを表示する・視聴予約する… 121
番組表メニューを活用する…… 122
映像に合わせてワイド画面を切り換える…… 124
ワイドモードの選びかた …… 124
ワイドモードについて …… 125
音を一時的に消したいとき…… 127
チャンネル番号などを知りたいとき…… 128
ステレオや２ヶ国語音声に切り換える…… 129
字幕放送を見るには…… 130
ビデオなどの映像を見る…… 131
テレビのリモコンで DVD/HDD レコーダーなどを操作する… 132
べんり機能を活用する…… 133
本体で操作する…… 134

いろいろな調節・設定・確認をしたいとき

もくじ…… 135
映像をお好みに合わせて設定する…… 136
映像モードを選ぶ …… 136
各機能について …… 136
明るさ、黒レベルなどの設定 …… 137
音声をお好みに合わせて設定する…… 138
音声モード、高音、低音などの設定 …… 138
デジタル音声出力・サラウンド設定をする…… 139
自動的にワイドモードを切換える…… 140
消費電力を低減する…… 141
スリープタイマーで自動的に電源を切る…… 142
オンタイマーで自動的に電源を入れる…… 143
視聴制限の設定…… 144
緊急警報放送を受信できるようにする…… 145
インフォメーションの確認…… 146
メール・ボードを見る …… 146
放送局からのお知らせを見る …… 146
本機からのお知らせを見る …… 147
カード情報を見る …… 148

困ったときは

もくじ…… 149
故障かな？と思ったら…… 150
メッセージ表示一覧…… 157
メニュー階層…… 158
保証とアフターサービス (必ずご覧ください。)… 160
お客様ご相談窓口…… 161
お問い合わせ診断シート…… 162
Quick Reference …… 163
Remote Control Buttons and Functions 163
Preparation …… 164
Basic Operations …… 164
用語解説…… 165

ご参考

仕様…… 166
外形寸法について…… 168
索引…… 169

使用上のご注意

商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）を理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示について

⚠	**警 告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、 人が死亡または重傷＊1を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠	**注 意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、 人が傷害＊2を負う可能性が想定される内容および物的損害＊3のみの発生が想定される内容を示しています。

＊1：重傷とは失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒など後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさしています。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさしています。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさしています。

図記号の例

気をつけなければならない。「注意」を示します。

感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。

してはいけない。「禁止」を示します。

必ず行う。「強制」を示します。

安全上のご注意

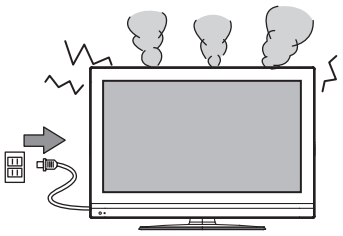
●イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

異常や故障のとき

⚠警告

■煙が出ている、へんなにおいや音がするときは、
すぐに本機の電源スイッチを切り、
必ず電源プラグをコンセントから抜く

異常のまま使用すると、
火災・感電の原因となります。
煙が出なくなることを確認して
販売店に修理をご依頼ください。

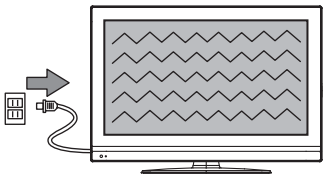


電源プラグをコンセント
から抜け

⚠注意

■画面が映らない、音が出ないなどの故障の場合には、
すぐに本機の電源スイッチを切り、
必ず電源プラグをコンセントから抜く

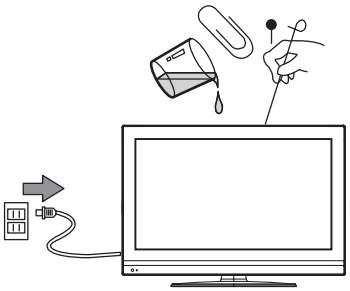
それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると
火災・感電の原因となります。



電源プラグをコンセント
から抜け

■内部に水や異物などが入った場合は、
すぐに本機の電源スイッチを切り、
必ず電源プラグをコンセントから抜く

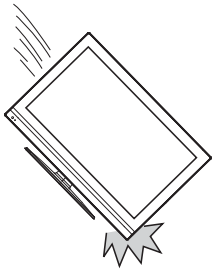
それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。



電源プラグをコンセント
から抜け

■本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、
すぐに本機の電源スイッチを切り、
必ず電源プラグをコンセントから抜く

それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



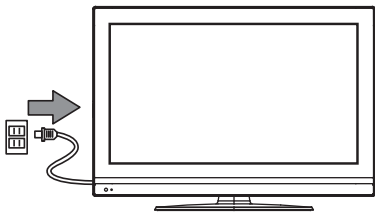
電源プラグをコンセント
から抜け

使用上のご注意

設置するとき

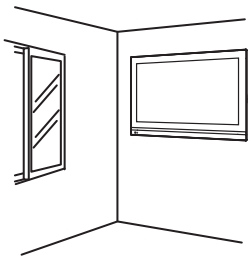
⚠警告

■電源プラグをすぐに抜くことが
できるように本機を据え付ける



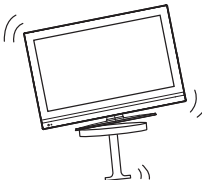
本機が異常や故障となったとき、
電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、
火災・感電の原因となることがあります。
本機は電源スイッチが「切」の状態でも、微弱な電流が流れています。

■壁に取り付ける場合は、
必ず別売の専用の壁掛け金具を使用し、
専門の業者に依頼する



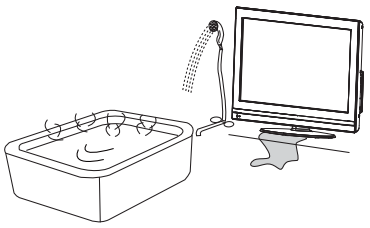
専門業者以外の人が壁掛け金具を使用して設置すると、
壁への取り付けがもろい場合に、本機が落下し、
打撲や骨折など大けがの原因となります。

■ぐらついた台の上や傾いた所など
不安定な場所に置かない



落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

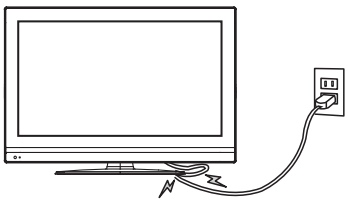
■風呂、シャワー室では使用しない



火災・感電の原因となります。

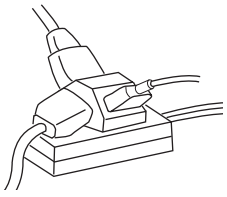
風呂場や
シャワー室で
の使用禁止

■電源コードの上に重いものをのせたり、
コードを本機の下敷きにしない



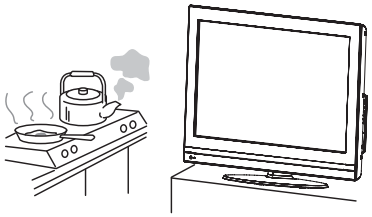
コードに傷が付いて、火災・感電の原因となります。
コードを敷物などで覆ってしまうと、
気付かずに重い物をのせてしまうことがあります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や
交流 100V（50/60Hz）以外では使用しない



●たこ足配線など、定格を超えると発熱により、
火災・感電の原因となります。
●表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。

■湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器のそばなど
油煙や湯気が当たるような場所やエアコンの下など、
水滴が落ちる場合のある場所に置かない

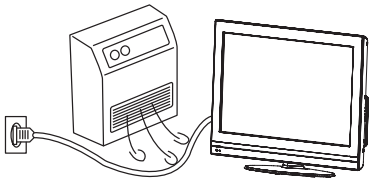


火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

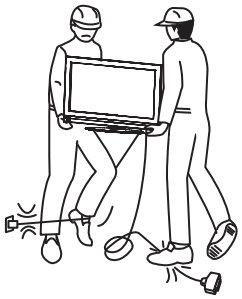
■電源コードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、
火災・感電の原因となることがあります。



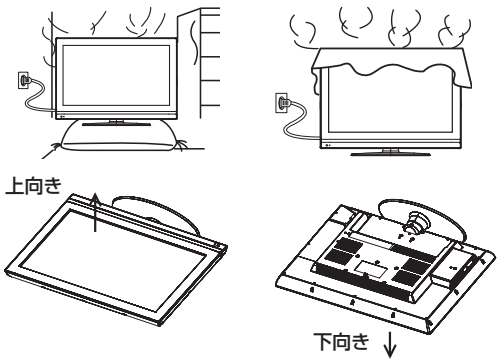
■移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- ●アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
- ●本機は質量が大きく奥行きが無くて不安定なため、一人で作業をすると思わぬけがの原因になります。



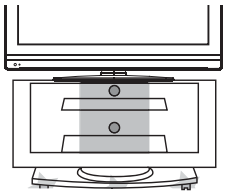
■本機の通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。
また、本機の設置は、壁から左右 10cm 以上、
上部は 30cm 以上離す。（壁掛け設置をする場合は除く）
特に次のような使い方はしない。故障の原因となります。
- ●本機を上向きや横倒し、下向きにする。
- ●押入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
- ●じゅうたんや布団の上に置く。
- ●テーブルクロスなどを掛ける。



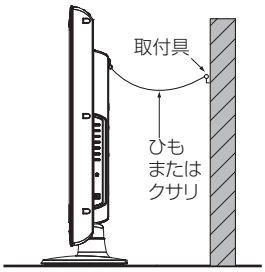
■キャスター付きテレビ台に本機を設置する場合にはキャスター止めをする

動いて思わぬけがの原因となることがあります。



■転倒防止の処置を行なう

テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。



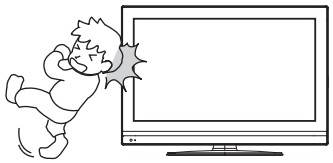
使用上のご注意

設置するとき（つづき）

⚠注意

■本機を頭や顔、手足などをぶつけるような場所に設置しない

けがの原因になることがあります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
●壁掛け・天吊り据え付け時には、
頭などをぶつけることのないように、
取り付けの高さにご注意ください。



■本機を医療機器の近く（同部屋）には設置しないでください

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

■アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください

●送配電線から離れた場所に設置する。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
● BS、CS 放送受信用アンテナは、強風の影響を受けやすいので、堅固に取り付ける。

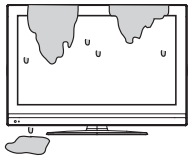
使用するとき

⚠警告

■本機の上に花びん、植木鉢、コップ、
化粧品、薬品や水などの入った容器を置かない

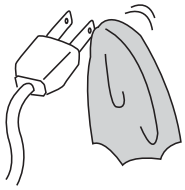
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしない



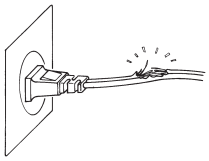
火災・感電の原因となります。
●雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■電源プラグの刃および刃の付近にほこりや
金属物が付着している場合は、
電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除く



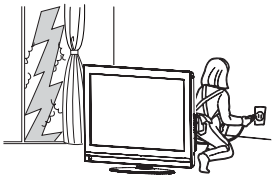
そのまま使用すると火災・感電の原因とります。
定期的（年に 1 回くらい）に清掃してください。

■電源コードを傷つけたり、加工したり、
無理に曲げたり、ねじったり、
引っ張ったり、加熱したりしない



コードが破損して、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。

■雷が鳴り出したら、アンテナ線や
電源プラグには触れない

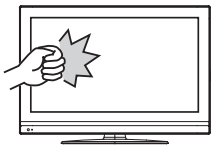


感電の原因となります。

■本機の裏ぶた、前面枠、カバーは外さない、本機を改造しない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

■前面パネルには、絶対に衝撃を加えない



本機の前面パネルをたたくなどして衝撃を加えるとパネルが割れ、
火災・けがの原因となります。

■電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したり、
ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

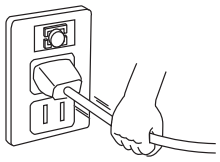
使用上のご注意

使用するとき（つづき）

⚠注意

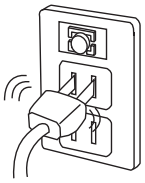
■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



■電源プラグは根元まで差し込んでも
ゆるみがあるコンセントに接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。
販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

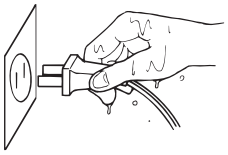


■本機に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

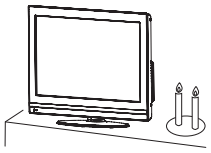
感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

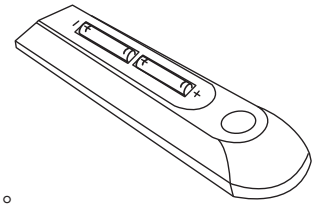
■機器の近くにローソクなどの裸火を置かない

火災・感電の原因となることがあります。



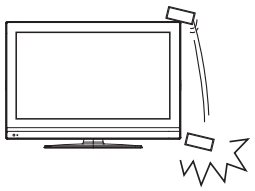
■間違った電池の使い方をしない

●乾電池は充電しない。
●指定以外の電池は使用しない。
●新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
●極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



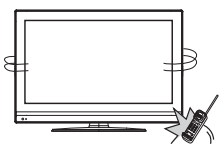
■本機の上に重い物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、
けがの原因となることがあります。



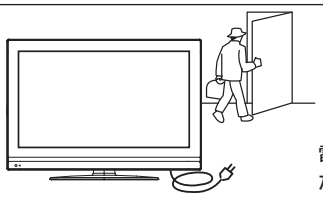
■スイーベル回転範囲内に物を置いたり、
操作中に顔や手などを入れない

物が倒れて壊れたり、けがの原因となることがあります。



■旅行などで長時間、本機をご使用にならないときは、
安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く

火災の原因となることがあります。



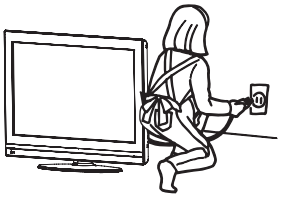
電源プラグをコンセントから抜け

お手入れするとき

⚠注意

■お手入れの際は、安全のため電源プラグを
コンセントから抜いて行う

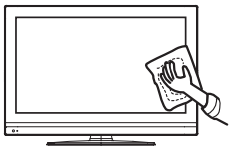
感電の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜け

■前面枠およびスタンド上面のお手入れには、
ネルなどの柔らかい布をお使いください

前面枠の光沢部分は傷が付き易いので、
お手入れの際には必ずネルなどの柔らかい布をお使いください。
ほこりのついた布や硬い布で拭くと傷がつく恐れがあります。



■年に一度くらいは、内部の掃除を販売店などにご相談ください

本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

使用上のご注意

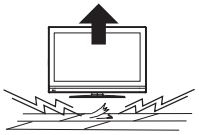
お守りください

■高温になるところに置かないでください

前面枠、バックカバーやその他の部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

●直射日光や熱器具の近くなど。

■平坦で安定する場所に設置してください



●テレビをフローリングに直接床置きすることはさけてください。フローリングの材質・表面状態によっては床面とスタンドのスベリ止めが強く密着し、テレビを持ち上げた際、フローリングの表面がはがれる場合があります。

●故障の原因となるため、設置場所は十分な耐荷重強度のある、平坦で安定した場所を選んでください。(傾斜面や、カーペット・畳などの安定しない面、変形する面などに設置しないでください)

■パネルを押したり、物をぶつけたりしないでください

液晶パネル表面には保護ガラスがありません。指・手などで押したり物をぶつけると、液晶セル・ガラスが破損し、故障やけがの原因となります。

■ B-CAS カード挿入口に異物を挿入しないでください

B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

■パネルのお手入れは、柔らかい布で拭いてください

●本機のパネル表面は、特殊なフィルムやコーティングが施されています。お手入れの際には、柔らかい布(綿・ネル等)で軽く乾拭きしてください。

●硬い布で拭いたり、強く擦ったりしますと、パネル表面のフィルムや特殊コーティングが傷付きますのでご注意ください。

●指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布をひたしよく絞ってからふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

●ガラス用クリーナーやスプレー式のクリーナーは、パネル表面が変質したり、フィルムや特殊コーティングがはがれたり、内部に侵入し、故障の原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

●化学ぞうきんやアルコール、ベンジン、シンナー、酸性 / アルカリ性 / 研磨剤入り洗浄剤などは、その成分により、パネル表面が変質したり、フィルムや特殊コーティングがはがれたり、変色する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

■前面枠やバックカバー、スタンド上面のお手入れの際、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください

●前面枠やバックカバーの表面、スタンド上面をベンジン、シンナーなどでふいたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはがれるなどの原因となります。

●化学ぞうきんは、前面枠やバックカバー、スタンド上面が変質する原因となりますのでご使用にならないでください。

●前面枠や操作パネル部分およびスタンド上面の汚れは、ネルなどの柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水で薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってからふき取り、乾いた布で仕上げてください。特に、次の洗剤などは亀裂や変色、傷付きの原因となりますので使用しないでください。

・酸･アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、OA クリーナー、カーワックス、ガラスクリーナー類、化学ぞうきんなど

●前面枠およびスタンド上面の光沢部分は、傷が目立ちやすいので、お手入れ、お取扱いには特にご注意願います。

■輸送する場合は、必ず本機用の梱包箱・クッションをご使用ください

●引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。
●横倒しでの輸送はしないでください。パネルが破損する、または面欠点が増加する可能性があります。

■乾電池を廃棄する場合は、プラス・マイナス端子に絶縁テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください

他の金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となることがあります。

■本機および本機の破片、付属品を廃棄するときは、必ず、販売店にご相談ください

■テレビをご覧になるときは、適度な距離と明るさでご覧ください

●画面の縦の長さの 3 ～ 7 倍離れた場所でご覧になれば、見やすくて目が疲れにくくなります。
●暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。
●長時間連続して画面を見ていると目が疲れます。時々、画面から離れて目を休めてください。

■適度な音量で隣り近所へ配慮してください

特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを利用したりして、隣り近所に対し十分の配慮をして、生活環境を守りましょう。

■スピーカー部のお手入れは布を使用しないでください

スピーカー部には小さな穴が開いており、布で拭くとほこりがセットの中に入ってしまいます。お手入れの際は先端に柔らかなブラシのついた掃除機で軽く吸い取って下さい。

使用上のご注意

お知らせ

■面欠点について

パネルは、精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありません。

■残像について

静止画（画面表示、放送局側から送られる時刻表示など）やメニュー表示を短時間（約 1 分程度）表示し、映像内容が変わったときに前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。故障ではありません。

■低温度環境での使用について

液晶の特性により、周囲の温度が下がるにつれ液晶の応答速度が遅くなり、映像が残像として見えることがありますが、故障ではありません。常温環境下に戻し、しばらくすると回復します。

■パネル表面温度について

液晶テレビは、内蔵している蛍光ランプを点灯させることにより映像を表示しています。そのため、液晶パネルの表面温度が高くなる場合があります。

■本機の温度について

本機は、長時間使用したときなどに、上部やパネル表面が熱くなる場合があります。手で触れると熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、熱で変形しやすいもの（オーディオテープ、ビデオテープなど）を上に置かないでください。

■パネル駆動音について

視聴中に、「ジー」というパネルの駆動音が聞こえることがありますが、故障ではありません。

■電話回線の接続が必要です

デジタル放送では、電話回線を使って視聴者参加番組への参加などができるシステムを採用しています。本機には NTT の 2 線式公衆電話回線で、プッシュ式またはダイヤル式（10 PPS/20 PPS) の電話機に接続の電話線を分配して接続してください。また、接続した電話回線は異常が発生しない限り、取り外さないでください。不特定多数の人が利用する公衆電話や共同電話、および 2 線式電話回線と接続しない電話機（携帯電話、PHS など）では利用できない場合があります。

■インターネット網への接続が必要です

地上・BS デジタル放送では、インターネット網への接続により、さらに多様な双方向データサービスを利用することができます。本機で、このサービスを利用するには、常時接続の回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約が必要です。インターネット網への接続をしていないと、双方向データサービスを利用できない場合があります。

■本機の電源プラグは常時コンセントに接続しておいてください

長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、テレビの電源プラグをコンセントから抜いたままにしないでください。本機は電源オフ（スタンバイ）状態でも、自動的にデジタル放送の情報を受信したり、視聴記録の送信を行ったりする場合があります。

■ダウンロードについて

放送運用などに変更が生じた場合、本機のソフトウェアを更新して対応させるために、放送によるダウンロードサービスを行ないます。このサービスを受けるには、ご使用にならないときは、リモコンで電源を切った状態にしておくことをお勧めします。本体の電源スイッチで電源を「切」にしたり、電源プラグを抜いた場合はこのサービスを受けられません。

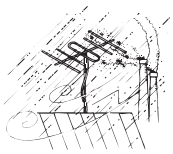
■天候不良によって、画質、音質が悪くなる場合があります

雨の影響により衛星からの電波が弱くなっている場合は、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。（降雨対応放送が行われている場合）降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。
降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

■ 110 度 CS デジタル放送をご覧になるには

110 度 CS デジタル放送に対応したアンテナが必要です。また、ブースターや分配器などをご使用の場合は、2150MHz またはそれ以上の周波数対応の伝送機器が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

■アンテナの点検・交換について



アンテナは風雨にさらされるため、美しい画像でお楽しみ頂くためにも点検・交換することをおすすめします。
特に、煤煙の多い所、潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みますので、映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。

■操作できなくなったときは

受信異常などにより操作ができなくなった場合は、本体の主電源ボタンで電源を「 切 」にし、スタンバイ／受像ランプ消灯後、再度主電源ボタンを押してください。

■ラジオについて

本機の近くでラジオを使用しますと、ラジオの音声に雑音が入る場合があります。本機より離してご使用ください。

■本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域（470MHz ～ 2072MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。また、アンテナの接続時にアンテナケーブルや分配器、分波器などの機器を使用する場合は、共聴用のものをご使用ください。

■赤外線通信機器について

赤外線コードレスマイクや赤外線コードレスヘッドホンなどの通信機器は、通信障害により、使用できない場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

■本機に記憶される個人情報などについて

- 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力したお客様の個人情報が記録されます。本機を廃棄、譲渡等する場合には「設定の初期化」105 を実施して、本機内のメモリーに記録されているデータを消去することを強くお勧めします。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障、修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化、消失する恐れがあります。これらの場合の損害や不利益について、当社は何ら責任を負うものではありません。

■ライセンス等について

HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing、LLC の商標または登録商標です。

使用上のご注意

留意点

■付属の B-CAS（ビーキャス） カードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、ただちに B-CAS（ビーキャス）「(株)ビーエス・コンディショナル アクセス システムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

■本機から電話回線などを通じて通信を行なうと、通話料金無料のフリーダイヤルでないかぎり、電話料金はお客様の負担になります。

■国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。

■この説明書に記載の画面イラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。チャンネル番号、チャンネル名、番組名などを含め、実際に表示される内容については画面でご確認ください。

■本機の仕様および機能などは、ダウンロードなどにより変更することがあります。

■ダウンロードとは、デジタル放送を受信してダウンロードデータを取り込み、本機のプログラムを最新のものに書き換える機能です。お買上げ時は「ダウンロード許諾」を「する」で行なう設定になっています。「しない」設定にもできますが、最新のプログラムでお楽しみいただくため、通常は「する」の設定でご使用ください。

デジタル放送について

デジタル放送には、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送および地上デジタル放送があります。BS デジタル放送および 110 度 CS デジタル放送は、それぞれ東経 110 度に位置する放送衛星および通信衛星を利用したデジタル放送です。本機では、110 度 CS 対応 BS デジタルアンテナを使用することで、両方の放送を受信することができます。また、地上デジタル放送は、UHF 帯域の電波を使って放送されますので、デジタル放送のチャンネルに対応した UHF アンテナを使用することにより、受信することができます。

デジタルハイビジョン放送

デジタルハイビジョンの放送フォーマットは走査線 1125 本（有効 1080 本）飛び越し走査の 1125i（1080i）と走査線 750 本（有効 720 本）順次走査の 750p（720p）放送の 2 種類があり、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像を楽しめます。また、現行のテレビ放送とほぼ同等の画質のデジタル標準テレビ放送もあります。

多チャンネル放送

デジタル信号圧縮技術により、従来のアナログ放送と比較して多チャンネル放送がおこなえます。デジタルハイビジョン放送やデジタル標準テレビ放送の多チャンネル化のほかに、独立データ放送やデジタルラジオ放送もおこなわれます。

データ放送

文字や静止画によって必要な情報を選んで画面に表示させることができる新しい放送です。テレビ放送やラジオ放送の番組に連動したデータ放送と、独立したデータ放送の 2 種類のデータ放送があります。データ放送では、電話回線を使用した視聴者参加番組やショッピング、バンキングなどの双方向サービスもあります。(インターネット網への接続が必要な場合もあります。)

サラウンド・ステレオ

音声信号圧縮技術 MPEG-2 AAC 方式の採用により、最大 5.1 チャンネルのサラウンド音声の番組も放送され、臨場感ある音声をお楽しみいただけます。ただし、5.1 チャンネルのサラウンド音声をお楽しみいただくには AAC 方式の光デジタル音声入力に対応したオーディオ機器を接続する必要があります。
[5.1 チャンネル：5 チャンネルステレオ + 低域強調チャンネル]

電子番組ガイド（EPG：Electronic Program Guide）

デジタル放送では、それぞれの放送に対して約 1 週間分の番組情報が送られることがあります。電子番組ガイドを利用し、画面上にそれぞれのデジタル放送の番組表を表示させ、番組表から番組を選んで詳細情報を表示させたり、視聴や録画したい番組を事前に予約したりすることができます。

BS デジタル放送について

BS デジタル放送は、東経 110 度に位置する放送衛星を利用したデジタル放送です。デジタルハイビジョン放送が中心であり、無料放送が多いのも特長です。（一部有料放送もあります）
基本的に放送事業者ごとの放送となるため、視聴契約や登録が必要な場合は放送事業者ごとに申し込みが必要です。

110 度 CS デジタル放送について

110 度 CS デジタル放送は、東経 110 度に位置する通信衛星を利用したデジタル放送です。BS デジタル放送とは異なり、デジタル標準テレビ放送が中心であり、映画、スポーツ、エンターテイメントなど有料専門チャンネルが多いのが特長です。（一部無料放送もあります）

地上デジタル放送について

2003 年 12 月から順次、放送を開始している地上波の UHF 帯を使用したデジタル放送です。デジタルハイビジョン放送に加えて、データ放送や双方向データサービスなどがあります。地上アナログ放送に比べてゴーストなどの影響を受けにくいのも特長です。(有料放送はありません。)

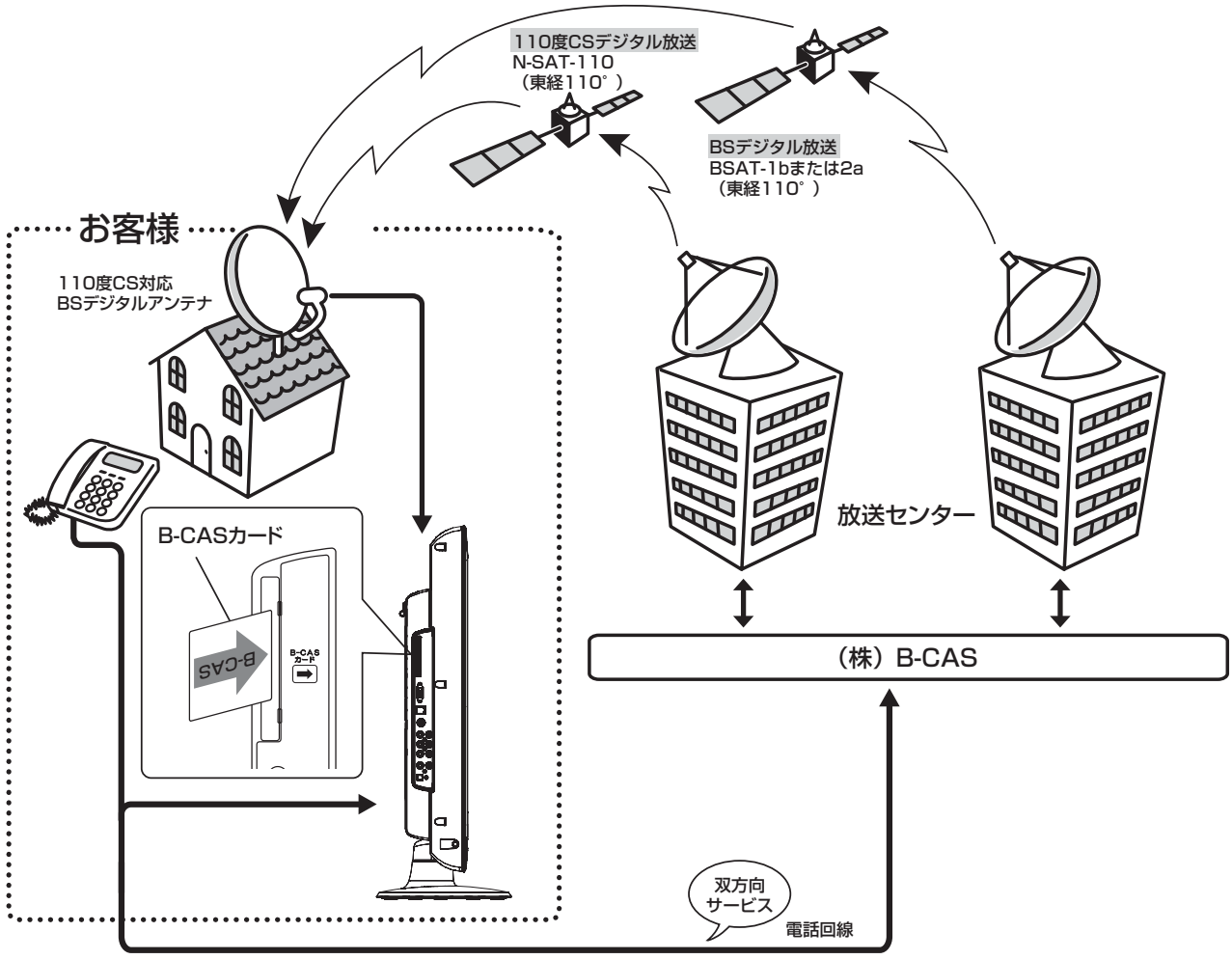
お知らせ

- 110 度 CS デジタル放送は、従来の CS デジタル放送　スカイパーフェク TV!(スカパー !)（東経 128 度、124 度の JCSAT-3、JCSAT-4 を利用）とは異なる放送です。従来のスカイパーフェク TV!(スカパー !) 放送を受信するには、専用デジタルチューナーが必要です。本機では受信できません。
- 本機に同梱しております「ファーストステップガイド」内の各放送事業者への申し込み書は、差出有効期限が過ぎたものでもお客様にご迷惑をお掛けすることなく郵送されますので、そのままご投函ください。

受信契約について

B-CAS カードによる限定受信システム（CAS）のしくみ

BS デジタル放送および 110 度 CS デジタル放送では、限定受信システム（CAS）により本機に付属の B-CAS カードを挿入しておくと、有料放送の契約情報が B-CAS カードに記憶され、お客様がご契約された有料放送をご覧いただくことができます。



B-CAS カードの登録

はがきまたはインターネットによるユーザー登録をおすすめします。（登録は任意で無料です。）

●はがきの場合

本機に付属の B-CAS カードの台紙の一部がユーザー登録用はがきになっています。台紙に記載の文面をよくお読みのうえ、ユーザー登録はがきに必要事項を記入・押印してポストに投函してください。

●インターネットの場合

インターネットからのお申し込みは、B-CAS ホームページをご利用ください。

B-CAS ホームページ：http://www.b-cas.co.jp

デジタル放送を視聴する場合には、必ず B-CAS カードを挿入してください。

B-CAS カードは、有料放送の契約や放送局からのメッセージの管理等のほか、著作権保護の為のコピー制御にも利用されています。

BS デジタル放送の有料放送視聴の手続きについて

●WOWOW、スター・チャンネルハイビジョンなどの BS デジタル放送の有料放送サービスを受信するためには、B-CAS カードの登録のほかに、個別の受信契約が必要となります。
●有料放送を視聴するには、お客様の視聴したい番組を放送している放送局へ加入申し込みをして契約する必要があります。本機に同梱されている加入契約書に必要事項をご記入のうえ、ポストに投かんしてください。
●詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。
●お問い合わせの際は、電話番号はお間違えのないようにお願いいたします。

2008 年 12 月現在の BS デジタル放送局（ＮＨＫと有料放送局）の電話番号、ホームページアドレスおよびチャンネル番号は、次のようになっております。

<table>
<tr><th>BS 放送局</th><th>お問い合わせ電話番号／
ホームページアドレス</th><th>BS 放送局</th><th>お問い合わせ電話番号／
ホームページアドレス</th></tr>
<tr><td>NHK BS1
NHK BS2
NHK デジタルハイビジョン
（101、102、103ch）</td><td>0120 － 151515
（受信契約専用フリーダイヤル）
受付時間　9:00 ～ 20:00（年中無休）
http://www.nhk.or.jp/</td><td>WOWOW
（191、192、193ch）</td><td>0120 － 480801（フリーダイヤル）
受付時間　9:00 ～ 20:00（年中無休）
http://www.wowow.co.jp/</td></tr>
<tr><td colspan="2">NHK 衛星放送受信契約をされていない方は、NHK と衛星放送受信契約が必要です。</td><td colspan="2">WOWOWはテレビ放送のみの視聴申し込みが必要な放送です。
独立データ放送（791ch）は無料放送です。</td></tr>
<tr><td>スター・チャンネル
総合案内窓口
（200ch）</td><td>03 － 5563 － 6777
受付時間　10:00 ～ 18:00（年中無休）
http://www.star-ch.co.jp/
スター・チャンネルハイビジョンに関わるお問い合わせは、スカパー！ e2 カスタマーセンターにお願いいたします。</td><td colspan="2" rowspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">スター・チャンネルハイビジョンはテレビ放送のみの視聴申し込みが必要な放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。</td></tr>
</table>

お知らせ

● NHK では、BS デジタル放送のメッセージ機能を利用して受信確認を行っています。すでに NHK と衛星放送受信契約されていても、本機に同梱されている「B-CAS カードユーザー登録はがき」をお送りいただけない場合、または、はがきを送っても下部の「はい」に○がついていない場合は、B-CAS カードを挿入して 30 日経過後、NHK － BS デジタル放送のチャンネルに合わせると、画面左下にＮＨＫへのご連絡をお願いするメッセージが表示されます。このメッセージは、画面に表示される NHK のフリーダイヤルにお電話いただき、B-CAS カード番号、住所、お名前、電話番号などをお伝えいただければ、表示されなくなります。
●一部のデータ放送など、無料放送でもユーザー登録が必要な場合があります。詳しくは、それぞれの放送局へお問い合わせください。

110 度 CS デジタル放送の有料放送視聴の手続きについて

● 110 度 CS デジタル放送の有料放送サービスを受信するためには、BS デジタル放送と異なり、個別チャンネルの放送事業者毎ではなく、「スカパー！ e2(旧 e2 by スカパー！)」が、放送チャンネル受信契約の代行を行うこととなります。
● 110 度 CS デジタル放送では、チャンネル毎の受信契約のほかに、個別に契約申込されるよりも視聴料金がお得なパック契約が用意される場合があります。
●詳しくは、カスタマーセンターへお問い合わせください。
●お問い合わせの際は、電話番号はお間違えのないようにお願いいたします。

2008年12月現在の110度CSデジタル放送のカスタマーセンター電話番号とホームページアドレスは次のようになっております。

110 度 CS デジタル放送	お問い合わせ電話番号／ホームページアドレス
スカパー！ e2 カスタマーセンター	0570 － 08 － 1212 PHS,IP 電話のお客様は 045-276-7777 受付時間　10:00 ～ 20:00（年中無休） http://www.e2sptv.jp/

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

2006 年 12 月から全国の都道府県庁所在地において地上デジタル放送が見られるようになりました。その後、その受信可能エリアは順次拡大される予定です。地上デジタル放送の受信エリアのめやすは、総務省またはお近くの地方総合通信局にお問い合わせください。
この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は 2011 年 7 月までに、BS アナログテレビ放送は 2011 年までに終了することが、国の法令によって定められています。

お知らせ

- ●地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信をさけるために、当初は非常に小さな出力で放送が開始され、段階的に送出出力が上げられていく予定です。このため、放送開始当初は受信エリアが限定されます。
- ●ブースターなどをご使用されている場合は、段階的に送出出力が上げられた際に、ご使用のブースターなどのレベル調整が必要な場合があります。このような場合は、お買い上げの販売店またはアンテナ工事業者にご相談ください。